

広報 おだわら

ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成5年 11月1日
November 1, 1993 No.614

発行: 小田原市役所
〒250 小田原市萩原300番地
毎月1・15日発行
編集: 広報広聴課 (☎33-1261)



桜井小児童の稲刈り

収穫の秋

自然の恵みを体で感じて

水稻栽培体験学習

実った稲の中に潜り込んだかと思うと、すぐにその手に握り締めた鎌で勢いよく稲を刈り始める。三十分ほどの稲を刈る音、笑い声、怒られる声、ほめられる声が響いた水田には、むき出しの地面と束ねられた稲、そして少し頬を赤くした小さな笑顔がたくさん。

田植えから稲刈りまでを体験しながら農業や自然を学ぶ「水稻栽培体験学習」。その中で稲刈り体験には、明るく、元気で、ちよつぱりたくましい子供たちの姿が見られます。

水稻栽培体験学習は、桜井小学校と報徳小学校の児童が、地元稲作組合の指導を受けて行なわれています。

今年、十月十八日に桜井小学校の五・六年生がそれぞれ稲刈りを体験。全国的な不作の中でも、例年に近い収穫を得ることができました。

…おだわら… この響きがあなたの心に何を呼び起こしますか？

多くの文人が 芸術家が愛した「おだわら」そして誰よりもここに生きる人々が愛する「ふるさとおだわら」
12月12日「おだわら」を体いっばい感じてみませんか？
〈市民文化祭第40回記念事業「ふるさとの詩'93」〉

やまびこ

市職員から市民のみなさんへのメッセージ

社会教育課 露木幹也

目次

- ② 交通安全ポスターコンクール、統計グラフコンクール
- ③ 市営住宅入居者募集
- ④ 特集 引き継がれるすぐれた技術伝統工芸
- ⑤ 7 さらめき情報・けんこうコーナー
- ⑥ 放置自転車のリサイクル

伝統工芸

と技術

観光地を旅する駅やドライブインにその地方独特の地場産品が色とりどりに陳列されています。その中には、日本各地で長年その地の風土と歴史の中で育まれ、生活用品として地元の人々の暮らしに密着してきた伝統工芸品の数々を見ることが出来ます。私たちの住む小田原にも、優れた技術によって生み出される伝統工芸品がたくさんあります。使えば使うほど味の出てくる製品を見直し、心豊かな生活を送りませんか。



小田原に根付いた 伝統工芸品

古くから木を主体とした日用品のための木工技術が発達した小田原では、伝統的な技術(ろくろ)を使って削り作った器物(や指物)を組み合わせ合わせた真・箱製などの技術による製品が多く現在に伝えられています。

現在まで小田原には、通産省から伝統的工芸品として指定されている小田原漆器、寄木細工のほかには木象嵌、組木細工のすぐれた技術を要する木製品をはじめ、砂張りに漆物や、古くは箱根山麓の良竹を原料として発達したものさし、童謡「お雛のか」や、でも有名な小田原のちん、箱紙で布地に美しい模様や絵を描き出す足柄刺繍など、数多く残っています。今日はこれらの製品の現在に生きる姿を紹介いたします。



小田原漆器

15世紀はじめごろ、伝統的に木地をきれた器物に漆を塗ったのが小田原漆器の始まりです。木の自然の木目がそのまま生かされているのが特徴で、使えば使うほど深い味わいを出し、手になじみ、手入れが楽く



しておけばいつまでも美しい輝きを出し続けます。



竹製ものさし

箱根山麓にもさしの原料となる良質な苦竹(真竹)が豊富にあったこと、江戸時代に将軍徳川吉房が酒造の士業に在りたるものさしを仕立てたこと有名になりました。

真竹のもがさは、固いのに弾力がありやすく、湿度や温度の変化で目盛りが狂いに



くいで、現在でも製図用、建築用、職能など用途に合ったいろいろなものさしが作られています。



寄木細工

数十種の木材を使用し、木の持つ自然の色を組合せて、華麗で多彩な幾何学模様を作り出す全国的にも例を見ない工芸品です。常に新しい模様を考案しながら洋風の生活にも合う製品を作り出しています。



組木細工

組木は、積み木に次ぐ代表的な道具として知られています。釘もりのりも使用しないその制作には、優れた技術と長い経験が必要とされ、製作しているのは小田原地方だけです。

日本建築や動物を表現したものがあふれます。近年は、幾何学的な構成の美しさを表現した種集のものも喜ば



お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん
お友達

おねえちゃん
ほぐの身長
計ってよ。

なあんだ、家の中を
伝統工芸品がいっぱい
あるんだね。
生活に密着した身近な
ものごだよね。

永記念館秋の特別展
日本の色絵
与衛門の優雅な世界
11月7日(日)まで

- ◆会期 11月7日(日)まで
- ◆時間 午前9時から午後5時(入場は4時まで)
- ◆交通 箱根登山線箱根駅下車徒歩10分 箱根バス 板橋下車徒歩10分
- ◆入場料 無料
- ◆内容 花文染鉢(重要文化財)ほか45点



- ◆日時 11月20日(土)・21日(日)
- ◆時間 午前9時30分～午後4時(21日は午後5時まで)
- ◆会場 田代内式ホール
- ◆主な行事内容 農林産物の展示、即売会、ふるさと味コーナー、子どもたちも「ホノマミ」米の例でも相談、ふたど他各種イベント
- ◆主催 小田原市農業まつり運営委員会
- ◆問い合わせ 農政課農林振興係 ☎5494

農業まつり
11月20日(土)・21日(日)



- 県下最大 11月3日(水)～15日(月)
小田原菊花展
- ◆会期 11月3日(水)～15日(月)
 - ◆時間 午前7時～午後4時30分
 - ◆会場 天守閣広場
 - ◆主催 市観光協会、小田原市農業会
 - ◆問い合わせ 観光協会 ☎50002 観光課 ☎51521

伝統工芸品月間

引き継がれるすぐれ

足柄 刺繍



足柄刺繍の技術は、千四百年以上昔の日本刺繍を基にして、足柄地方で考へ出されたものです。もめん糸で厚くつけ立体感を出した肉芯に、かき染めの絹糸を刺し込み、美しく模様や絵を描き出しています。そのデザインと配色の美しさから、芸術品として高く評価されています。

木像嵌



素地となる木をデザインに従って切り抜き、そこに異なる木をはめ込んで装飾したものが木像嵌です。自然の樹木を使って絵画風に装飾された素地を特殊なかなで薄く削り、額などの表面にはつたり、額に入れて部屋に飾ると、落ちついた雰囲気を醸し出します。記念品、贈答などにどうぞ。



この足柄刺繍のスカフ、おはあちゃんんが代から使っているのよ。

こわしたは、いいけど、組の立て方が、


「こわしたは、いいけど、組の立て方が、」

小田原 ちようちん



童謡「おぼろのかきごころ」でも有名な小田原ちようちんは、徳川吉宗の時代に大雄山最乗寺の杉で作られたのが始まりとされています。折紙で懐中に入れらる携帯に便利で、夏風に強く、ご神木を使って、小田原で道中の魔除けとする。以上を小田原ちようちんの三徳という。ことから、江戸時代の箱根山越えの旅人の携帯灯籠として感んじられ、全国に知られるようになりました。現在は、実用品として用いられることはなくなりましたが、催事用などに、生花が挑げらる。その技術が伝えられています。

工芸鋳物



工芸鋳物は、材質を銅6・8割、錫2・4割を主とする砂張法によるもので、鐘や鈴、喚鐘、銅鑼、佛鈴などは、奥深く優雅な音色と余韻の長さに特筆すべきがあります。ぜひ一度聞いてみてください。

花瓶、茶器、香炉のほか、手軽に砂張の音色にやさしめ魔除けのすずなどの製作もされています。



コマロをたこして、品として配ったころ大好評とのことだった。


「工芸指導所」初めて耳にする方もいらっしゃると思いますが、工芸品のデザインや材料の研究、後継者の人材育成などのために、昭和12年に設置されました。1階には工芸品の展示室もあります。お気軽にお越しください。伝統工芸品の美しさと暖かさは、生活にゆとりとやすらぎをもたらします。技術者は、その良さを、多様化する消費

●問い合わせ先 商工課工業係 ☎15313

●者に伝えよう、新製品の開発に力を入れています。

●15日(即)19日(即)には、伝統工芸品のフェアを開催します。

●伝統工芸品の良さは、実際に使ってみるとよく分かります。ぜひ、地元の人が見て、さわって、使ってみてください。



●日時 12月12日(即) 午後2時から4時30分まで

●会場 市民会館大ホール

●プログラム

○第一部 音楽と詩をつづ

○第二部 音楽と踊りを中心とする創作民謡劇「おだわら縁のしらべ」

●参加費は無料

●申し込み先 2500小田原市市民文化センター市民文化課

●申し込み期限 11月15日(即)当日消印有効

●問い合わせ先 社会教育課 ☎1712

第40回市民文化祭記念事業 「ふるさとの詩'93」

●主催 93さくらめき

●後援 小田原市教育委員会

●主幹 小田原市

●主催 小田原市

●後援 小田原市教育委員会

●主幹 93さくらめき

●実行 11月27日(即)午前10時～午後4時まで、2歳以上就学前まで、無料

●会場 中央市民館

●開演 11月27日(即)18時

●お問い合わせ 女性行政室 推進係 ☎1725

●問い合わせ先 市民文化課 ☎1725

'93さくらめき おだわらフォーラム

11月27日・28日



色絵花井文堂 東京国立博物館蔵

ホット・ボイス

農地の売買・転用には許可が必要です

申請によっては許可まで日数がかかるので、早めに手続きしてください。

毎月の申請などの提出期限は次のとおりです。

○農地法の許可に関する申請
3条・4条・5条・20条第

6項、相続税・贈与税の納税義務に関する適格証明願について11月10日まで、12月3日まで、平成5年11月10日まで、2月4日まで、3月4日まで。

○市街化区域の農地転用 毎月15日までと月末（休日のときは前日）

●問い合わせ 農業委員会 ☎1748

年末調整の説明会を開催

平成5年分の給与の支払をしている源泉徴収義務者を対象に、年末調整などについての説明会を開催します。

11月26日金、午後1時30分～4時（諸用紙は午

後1時から配布）。中央公民館ホール。

●お問い合わせ 市民課課市民税第2係 ☎1364 小田原事務署法人課第2部門 ☎4511

とりもどそう青い空

ノーカーデに協力をお願いします。

車の排気ガスには、さまざまな大気汚染物質が含まれており、その中の代表的な汚染物質のひとつ、NOx（窒素酸化物）は特に冬季に濃度が高くなります。

首都圏の7都府市では、11月から1月までの3か月間、皆さ

んに車の使用（特に水曜日）を控えていただくようお願ひしています。マイカー通勤や必要のない車の使用を控え、美しい青空をともどすため、ご協力を。

11月1日～平成6年1月31日まで。

●問い合わせ 環境保全課指導係 ☎1483

ベルリンフィル ピアノトリオコンサート

12月3日金午後6時30分開演。市民会館大ホール。入場料：前座定2000円、白座11500円。市民会館事務室、志津澤

パートチケットセゾン、長崎路4Fサービスセンター、おだちカインフォメーション、前売りが好評発売中。

●問い合わせ 市民会館 ☎7146

特設相談所のお知らせ

市政への苦情や要望、近隣のトラブル、心配ごとなどについて、各種専門委員が相談にお答えします。また、横浜公証人会の協力で「遺言」相談に関する相談も無料。

で、秘密は守られます。お気軽にご利用を。11月17日水午後1時～4時。稲府市民館。主催は、市行政相談委員、人権擁護委員会、民生児童委員、横浜公証人会が共催。

●問い合わせ 市民相談室 ☎1363

今月の納税 固定資産税 第3期分 都市計画税

●問い合わせ 資産税課 ☎1361

納期限は11月30日(火)です。口座振替払の方は、預金残高の確認を。

●問い合わせ 選挙管理委員会 ☎2777

●問い合わせ 選挙管理委員会 ☎2777

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

11月17日(水) 用いる場合は28日までに、小田原駅東口に午

スポーツ結果

第44回神奈川県総合体育大会
第5回おたわらレクリエーションまつり結果

第5回おたわらレクリエーションまつり結果

第5回おたわらレクリエーションまつり結果

もう一度役立てたい 放置自転車のリサイクル

市では、限る資源の有効利用を図るため、放置自転車のリサイクルを促すため、特別支部「放置自転車回収委員会」を立ち上げ、回収・保管した放置自転車の

の魅力を、いたゞき、放置自転車リサイクルを促す。修理し、移動・保管した放置自転車の

うら、保管期限が経過した引取の新しい自転車を始め、修理し、移動・保管した放置自転車の



店社名	電話
浦井商会	(22)2943
サイクルショップシズ	(22)5306
野戸自転車店	(22)5432
野地サイクル商会	(22)4287
若瀬自転車店	(22)4614
鈴一輪車	(34)8275
達磨サイクル店	(22)4226
南甲本車店	(22)3355
松村サイクル店	(34)6650
南陽垂木車	(42)2522
大川輪車	(47)2675
小澤輪車	(43)0555
川辺サイクル	(47)5993
スズキサイクル	(47)2980
南鈴木商會	(48)1001
飯山サイクル	(47)2758
カワシマサイクル	(36)0084
古木サイクル	(47)3415
豊野サイクル	(42)0453
サイクルショップ三益	(47)3995
サイクルショップ三益	(36)5510
南達藤商會	(34)7517
中島自転車店	(34)2885
豊野モーターサイクル	(34)5518

市民の方でまちを活性化

まちづくり市民工房21が発足

スタッフの方々は次のとおりです。(五十音順、敬称略)

- 飯野善治、石田由美、上田綾子
- 内田由美、小原川のぞみ、石川仁美、下田由美、田代芳生、中山山登、瀧野和子、舟久保正菜、堀江真木、正明、安井俊夫、吉田正典



発足式に集った市民スタッフの方々

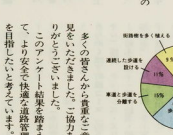
市では、限る資源の有効利用を図るため、放置自転車のリサイクルを促すため、特別支部「放置自転車回収委員会」を立ち上げ、回収・保管した放置自転車の



「道の日」フェア93開かれる

去る八月八日、「道の日」小田原市共働により、「道の日」フェア'93が開催されました。

- 優秀作品賞 小田原市 藤原 常盤あやな
- 二席賞 小田原市 久野 佐々木ととか
- 三席賞 小田原市 若佐元光
- 四席賞 小田原市 北川 恵
- 五席賞 小田原市 久野 赤根谷直樹



多くの皆さんが賞を二意見を送りいただきました。ご協力ありがとうございました。



いて十一月から販売することにしました。リサイクル自転車の取扱と販売方法を



道路を清潔に維持するための方法として、どのような方法がよいと思いますか。

市立病院が 毎週土曜日を休診に

小田原市立病院では、これまで毎月2、第4曜日の外来診療を休診して、また全通国が国をめぐって、土曜日を休診する。土曜日の外診診療を休診することになりました。緊急な患者には、これまで通りです。

第12回県西部地区 障害者作品展 力作がずらり

